

地域伝統芸能等を核とした催事の創出による地域活性化の推進方策調査シンポジウム

いま活かす ふるさとの芸能—伝えてきたところとわざ—その交流と活用(運輸省、通商産業省主催)

開催日：	平成12年3月18日
開催場所：	石川県小松市(小松市公会堂)
基調講演：	「技テクノロジーと芸パフォーマンス—人形の芸能の広がり」 小松 左京(作家)
聞き手：	安田 文吉(南山大学教授)
パネルディスカッション：	芸能の交流と地域活性化
パネリスト：	小松 左京(作家) 安田 文吉(南山大学教授) 兼瀬 哲治(熊本県清和村長) 掘喜 代治(北國新聞社論説委員長) 北出 信正(全国子供歌舞伎フェスティバルin小松実行委員会運営委員長)
出演：	佐渡のろまん人形・広栄座(新潟県) 淡路人形浄瑠璃・淡路人形座(兵庫県) 深瀬でくまわし保存会(石川県)
参加人数：	450名

地域伝統芸能を活用した地域間交流シンポジウム(運輸省、通商産業省、北海道主催)

開催日：	平成11年2月27日
開催場所：	北海道函館市(函館市民会館)
基調講演：	伝統芸能を活用した地域振興 鈴木 健二(前熊本県立劇場館長)
パネルディスカッション：	交流する日本のリズム—伝統芸能の再発見
パネリスト：	鈴木 健二(前熊本県立劇場館長) 本條 秀太郎(三味線奏者) 金沢 明子(民謡歌手) 佐々木 基晴(民謡歌手)
コーディネーター：	いづみ 侏子(アナウンサー)
出演：	玉城流てだの会(沖縄県) 阿波踊り葵連(兵庫県) 松前郷土芸能保存会(北海道) 佐々木基晴門下(北海道)
参加人数：	850名

アジア・環太平洋地域伝統芸能シンポジウム（通商産業省、運輸省、沖縄県主催）

開催日：	平成10年2月28日
開催場所：	沖縄県沖縄市
基調講演：	鈴木 健二（熊本県立劇場館長）
てい談：	伝統文化を通じて地域振興の方向を探る 鈴木 健二（熊本県立劇場館長） 宮川 泰（作曲家） 照星 林助（音楽家）
ワークショップ：	黒潮に乗った伝統芸能公演
案内人：	鈴木 健二（熊本県立劇場館長） 宮川 泰（作曲家） 照星 林助（音楽家）
伝統芸能上演：	芸能の流れ（バロンダンス／勢理客獅子舞／逆面獅子舞） 楽器の流れ（中国雲南省イ族の小三弦／沖縄の三線／津軽三味線） リズムの流れ（インドネシア歌謡／カチャーシー／阿波踊り／津軽アイヤ節）
参加人数：	1,100名

地域伝統芸能と観光振興シンポジウム（運輸省後援）

平成8年度

開催日：	平成8年6月17日
開催場所：	岩手県滝沢村（岩手産業文化センター）
基調講演：	人々の心をとらえる郷土芸能 浜 美枝（女優）
パネルディスカッション：	伝統芸能と観光振興
パネリスト：	三隅 治雄（実践女子大学教授） 門屋 光昭（北上市「鬼の館」館長） 有本 香（旅行誌「ジョイフル」編集長） 山本 玲子（エッセイスト・石川啄木記念館学芸員） 伊藤 彬（岩手県観光連盟理事、北上観光協会会長）
コーディネーター：	前田 正二（岩手放送アナウンス研修部長）
参加人数：	200名

平成7年度

開催日：	平成7年10月1日
開催場所：	沖縄県那覇市（パンフィックホテル沖縄）
基調講演：	海之力・人之力 高橋 のぶ子（芥川賞作家）
パネルディスカッション：	沖縄の伝統芸能の活用と観光・リゾート産業振興について
パネリスト：	大城 学（民俗芸能研究家） 山内 徳信（読谷村村長） 室井 澄生（（財）地域活性化センター顧問） 楓 千里（元旅行雑誌記者）
コーディネーター：	三木 健（琉球新報社編集長）
参加人数：	200名

平成6年度

開催日：	平成6年9月30日
開催場所：	熊本県熊本市（熊本市青年会館ホール）
基調講演：	地域伝統芸能と観光について 中山 朝雲（地域振興計画研究所所長）
プレゼンテーション：	豊川 洋（日本観光協会次長）
パネルディスカッション：	地域伝統芸能と観光振興 安藤 美文（島根県金城町長） 兼瀬 哲治（清和文楽邑支配人） 竹田 勉（（社）熊本県観光連盟専務理事） 米沢 和彦（熊本県立大学教授）
コーディネーター：	高田 英機（熊本日日新聞社論説委員）
参加人数：	300名

平成5年度

開催日：	平成6年3月20日
開催場所：	山形県酒田市（酒田市民会館）
基調講演：	自然と共に生きる人々によってしっかりと受け継がれてきた民俗芸能 山口 崇（俳優）
活用事例研究会 事例紹介：	木村新一（山形県観光物産課係長）
意見発表：	深川三郎（日本旅行業協会国内旅行常任委員） 鹿島雄吉（全国旅行業協会宮城県支部長） 矢野正男（酒田観光協会副会長）
参加人数：	1,100名

地域伝統芸能と地域振興シンポジウム（通商産業省後援）

平成10年度

開催日：	平成11年1月23日
開催場所：	和歌山県和歌山市（和歌山県民文化会館小ホール）
基調講演：	ことばも地域発信で 平野啓子（キャスター・かたりすと／現代の語り部）
パネルディスカッション：	伝統芸能で町おこし・村おこし
パネリスト：	吉田昌生（藤白神社宮司） 西田 新（河内祭保存会会長） 藤井康央（テレビ和歌山チーフディレクター） 谷 奈々（財・和歌山社会経済研究所研究員）
コーディネーター：	泉 健（和歌山大学教育学部助教授）
参加人数：	400名

平成9年度

開催日：	平成10年2月22日
開催場所：	京都府京都市（京都会館第2ホール）
基調講演：	京都芸能歳時記 森谷尅久（武摩川女子大学教授）
実演：	今宮やすらい花（今宮やすらい会） 祇園祭山鉾行事（祇園囃子：綾傘保存会） 壬生大念仏狂言（壬生大念仏講）
参加人数：	500名

平成8年度

開催日：	平成9年2月5日
開催場所：	島根県松江市（島根県民会館）
基調講演：	阿国と私 木の実 ナナ（女優）
パネルディスカッション：	伝統芸能で町おこし・村おこし
パネリスト：	若槻 俊二（（株）山陰経済経営研究所地域振興部長） 藤岡 大拙（島根女子短大教授） 福島 裕子（出雲阿国会副会長） 竹内 幸雄（地域伝統芸能伝承者、元高校教師）
コーディネーター、司会：	長野 忠（山陰中央新報社論説主幹）
参加人数：	500名

平成7年度

開催日：	平成7年9月29日
開催場所：	兵庫県三原郡三原町（三原町立市小学校）
人形芝居実演：	竹本 朝重（義太夫協会会長）
パネルディスカッション：	ふるさとの文化を育てよう～人形芝居の広がり求めて～
パネリスト：	星野 紘（文化庁文化財保護部主任文化財審査官） 景山 正隆（文化財保護審議会専門委員） 宇野 小四郎（現代人形劇センター理事長） 三隅 治雄（実践女子大学教授）
コーディネーター：	佐藤 克明（日本芸術実演家団体協議会専門研究委員）
参加人数：	520名

平成6年度

開催日：	平成7年2月22日
開催場所：	香川県高松市
基調講演：	狂言60年を生きる 野村 万作（人間国宝・芸術院会員）
パネルディスカッション：	ふるさと伝統芸能で村おこし、町おこし
パネリスト：	池原 昭治（漫画家） 山本 忠司（建築家） 池田 清一郎（池田経営コンサルタント事務所代表取締役） 山本 昌司（四国こんぴら歌舞伎大芝居前副会長）
コーディネーター：	津森 明（四国新聞社取締役事業局長）

「能登の夏・祭りと芸能の夕べ」事業

内容：	（社）日本観光協会との共催により能登の祭りや芸能の振興を図るため、「能登の夏・祭りや芸能の夕べ」を開催した。
御陣乗太鼓実演：	平成9年8月3日（石川県金沢市内）
伝統芸能パネル展：	平成9年7月1日～8月17日（JR金沢駅構内）